

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	県営緑ヶ丘団地公営住宅(5期)	階数	地上4F
建設地	厚木市緑ヶ丘3-1-1外2筆	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火	平均居住人員	124人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年5月 予定	評価の実施日	2021年3月15日
敷地面積	3,008㎡	作成者	㈱アエ設計小野健一
建築面積	743㎡	確認日	2021年3月15日
延床面積	2,455㎡	確認者	㈱アエ設計小野健一

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B': ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
今回新築の共同住宅は一団地の中にあり、低層住宅、共同住宅4~5階建が点在する。	特になし	
Q1 室内環境 ほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用している	Q2 サービス性能 バリアフリー新法の建築物移動円滑化誘導基準を超えてさらに十分な配慮を行っておりユニバーサルデザインとなっている。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準断熱等性能投球4、BEIm=0.82、LED照明設備及び潜熱回収型給湯器を導入している。	LR2 資源・マテリアル PRTR法の該当しない建材が2つある	LR3 敷地外環境 照明目的に合った照度を設定している。広告物照明を行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される